

クラス番号	903	担当教員名	北村 育子
テーマ	<p style="text-align: center;">ソーシャルワークの対象と実践分野の広がりを知り ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティ形成を目指す</p>		
ゼミナール概要			
<p>目的、内容、方法等：</p> <p>みなさんは、ソーシャルワーカーになることを目指して、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、障害者福祉論、といったクラスでそれぞれ対象とするクライアントとその支援のための制度について、またソーシャルワークの援助技術について学んでいます。高齢者や児童、障害者は、それぞれ支援を必要とする人々ではありますが、ソーシャルワークを必要とする人は、社会福祉士国家試験科目の分類のいずれかにあてはまるわけではありません。</p> <p>このゼミでは、ソーシャルワーカーが活躍できるフィールド（実践の場）について、また、それぞれのフィールドでどのような実践ができるかということについて、本や資料を読むことを通じて知り、ソーシャルワークとソーシャルワーカーの明確なイメージを各自が構築することを目的とします。そのために、他者の不幸な状況に関心を寄せ、それらの人々を自分のできる限りのことを行って支援している人々の活動を、書物を通して知ることから始めます。書いてあることを理解するだけでなく、書いてあることを読み込み、描かれている当事者が置かれている状況を深く理解し、生じてくる感情について話し合います。</p> <p>授業計画：</p> <p>前期は、担当者が選定した文献を読み進めます。各回、全員が一定のページ数の文献を読み、内容について担当教員が解説を行った後、内容について話し合います。授業終了後は次回までに、授業で話し合ったことと自分の考察とをまとめ、短いレポートとして提出していただきます。</p> <p>後期は、クラスをいくつかのグループに分け、各回、グループごとにソーシャルワークの対象の多様性を示すテーマを設定して資料を作成し、クラスに提供し、皆で話し合います。年度末には、各自が最も関心を寄せるクライアントについて、レポートをまとめて提出していただく予定です。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>我が国の社会では、ソーシャルワーカーとしての職域はまだ未開発で、そのためにソーシャルワークは人々の目に見える仕事にはなっていません。仕事を続けていくためには、アイデンティティが必要です。このゼミで学んだことによって、参加者がソーシャルワーカーとしてのアイデンティティを少しでも感じることができるようになれば、またその上で、ソーシャルワーカーとなるか、またどのような分野で実践を行うか、といった選択の一助になればと考えています。</p>			